

大正六年三月一日發行

婦人と子ども

第十七卷

第三號

フレール會

# 第十七卷第三號目次

春が来る.....

北米合衆國に於ける幼稚園教育の理想

及び實際.....久保良英

幼稚園保育趣旨及び細目(米國沙市).....岸邊福雄

雞の節句と幼稚園.....野口幽香  
久留島武正  
中野

菱餅の話.....村尾節三

室内裝飾に就て.....杉本りつ

色彩の心理.....菅原教造

## 本誌定價

一冊 郵税共金拾參錢 六冊前金郵税共七拾貳錢  
拾二冊同金壹圓四拾四錢 郵券代用一割増

## 購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七二六六番)

## 本會宛御用務

本會宛諸般の御用務は左の如く願ひます

庶務及會計に關する御用務は東京女子高等師範學校附屬幼稚園内フレール會事務所宛

本誌編輯の御用務(寄稿、廣告等)は東京府下代々木山谷一二四倉橋惣三宛

大正六年三月一日印刷納本  
大正六年三月一日發行

編輯兼發行者 倉橋惣三  
東京府豐多摩郡代々幡村大字代々木山谷一二四

印刷者 守岡功  
東京市本所區番場町四番地

印刷所 凸版印刷株式會社本所分工場  
東京市本所區番場町四番地

發行所 フレール會  
東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

生先郎三平島高問顧

# モドコ

## 本誌の四大特色

子供繪雑誌は玩具であると同時に教科書であります。お子様方がコドモを御覧になつてゐる間に物事を覚えお行儀がよくなること不思議な位です。

まじめで教育的なこと  
 繪が叮嚀で美麗なこと  
 お話が易しく面白いこと  
 片假名のみで讀易いこと

□ 定價 一冊十二錢  
 □ 郵 税 五 厘

□ 六冊郵税共六十九錢

□ 十二冊 一圓三十一錢

□ 郵税共

□ 總て前金の事

合本定價  
 各集郵税共五十錢

東京市小石川區  
 林町五十七

**コドモ社**

電話番町六一八  
 振替東京二七九六三

合本出來

大正三年七月號より  
 第二一七集

同 大正三年十二月號まで

同 大正四年三月號まで

同 大正四年六月號まで

同 大正四年九月號まで

同 大正四年十二月號まで

同 大正五年一月號まで

同 大正五年六月號まで

幹主子とも仁羽

# 子之友

本誌は十分教育的に編輯された子供雑誌で御座います。記事も挿畫も子供の喜ぶものばかりです。楽しんで讀む間に、頭腦をよくし感情を高尙にし、善良なる習慣を愛するやうになります。『子供之友』には、一つの非教育的なる挿畫も、一行の不注意なる文章もありません。『子供之友』は、家庭教育の最も有力なる補助機關であります。幼稚園及び小學校時代の御子様方のために、熱心によき讀物を求めて居らるる御家庭におすゝめ致します。

一定半分の税も十  
冊年錢六と郵錢六  
婦人之友社  
東京東區  
雜司ケ  
谷番〇〇六一

# もど子と人婦

日一月三年六正大  
號三第卷七十第

窓を開け。窓を開け。汚れた瓦斯を出す爲ばかりでなく。暖い日光と、軟い空氣と、かぐはしい花の香と、賑かな小鳥の歌とを迎へ入れる爲に。そして春を幼稚園一ぱいに漲らせる爲に。

黒い重いストープは取片けられた。序に冬らしい一切の名残りを取除けよ。壁を拂へ、床を洗へ。額の繪も取りかへよ。隅棚の裝飾も取りかへよ。そして、春を春らしく迎へることを志れるな。

春が来る。どこから来る。垣根を越えてプランコの上からも来る。籬に沿ふて草からも来る。砂場の砂の日影からも来る。子供達をして此の春を迎へしめよ。此の春と交らしめよ。此の春に親しましめよ。遊園へ遊園へ。春の遊園へ。

子供等の着物は軽くなつた。其の軽い裾を短くして、どこ迄も春を追ひゆかしめよ。廣い野、そこには、草花が笑つて居る、蝶が舞つて居る。春が子供等を待つて居る。自然がそこに大きな幼稚園を準備して居る。

春の海邊にも幼稚園がある。そこで子供等は遠い春の海を見渡すことが出来る。遠くく、子供等の心は、目に見えない遠くまでゆくことが出来る。丘の上にも幼稚園がある。そこに子供等は廣く春の野を見おろすことが出来る。高くく、子供等の心は、其の脚が上り得るよりも高くゆくことが出来る。廣くく、高くく。子供の心は大きく、ゆつたりと伸びてゆく。

春が来る。春が来る。子供達の爲に春が来る。幼稚園の爲に春が来る。

# 北米合衆國に於ける幼稚園教育の理論及び實際

文學士 久保良英  
ドクトル

幼稚園の數——幼稚園の種類——幼稚園の任務——保姆の資格——幼稚園の效果——幼稚園教育に關する原理——幼稚園協會

## ○幼稚園の數

北米合衆國に於ける最初の幼稚園は、千八百五十五年即ちフレーベルの死後三年目にウイスコンシン州のウオータータウン市に於てフレーベルの學徒カール、シュルツ夫人(Mrs. Carl Schurz)によりて開設されたものである。其後十五年間に十個以上の獨乙幼稚園が、獨乙語を話す人々の組合の間に設立された。英語を話す兒童の幼稚園の最初

のものは千八百六十年ボストン市に於てエリザベス・ビーボディ(Elizabeth P. Peabody)によりて設立された。千八百七十三年にスーザン・イー、ブロー嬢(Mrs. Susan E. Blow)がハリス氏(W. F. Harris)と共同でセントルイスに初めて公立幼稚園を開いた。これが動機となつてセントルイスは幼稚園教育の影響を引起す中心地となるに至つた。其の後漸次その數を増加し、千八百八十年には三十州に跨りて四百の幼稚園が設けられた。今千九百〇二年に於ける幼稚園數及び園兒數と千九百十二年に於ける其等の數とを比較を示すと次の如くである。

年 度	幼稚園數	園 兒 數
一九〇二	三、二四四	二〇五、四三二
一九一二	七、五五七	三三三、五四六

更に千九百年並びに千九百十年に於ける四歳より六歳までの児童數及びこの一般児童數と入園兒數との割合を調べてみると次の如くなる

年度	四歳より六歳までの児童數	入園兒の百分率
一九〇〇	三、六三九、五八三	約五、
一九一〇	四、一五〇、三二五	約九、

### ○幼稚園の種類

亞米利加の幼稚園をその設立の方面より分類する時は、左の十一種に分つことが出来る。

- (イ) 公立學校系統の一部となれるもの
- (ロ) 教區の學校(羅馬カソリック派及び獨乙ルイタル派に屬するもの)
- (ハ) 一部は地方幼稚園組合によりて、一部は教育局によりて支配せらるゝもの
- (ニ) 地方幼稚園組合を通じて寄附せられたる金を以て支持せらるゝもの
- (ホ) 宗教宣傳の活動の一部として教會によりて

支持せらるゝもの

(ヘ) 居留民事務の一部として設立せられたるもの

(ト) 製造家又は工場主が社會福祉増進策の一部として設立せるもの

(チ) 孤兒院又は日中托兒所の手によりて支持せらるゝもの

(リ) 身體的又は精神的不具の學校の中にあるもの

(ヌ) 私立學校又は特殊の學校の一部となれるもの

(ル) 教育學を授くる大學及びカレッジ又は州立師範學校にあるものにして、之は一の實驗場ともいふべく、學生は其の觀察又は實地教授をなすの機會を有するもの。

次に其幼稚園教育の發達した順序からいふと、第一に富豪の子弟の爲めに多少一種の贅澤ともいふべき私立の幼稚園が設立された。次には慈善家

が貧兒又は顧みられなかつた子弟のために設立した幼稚園で、教會、寄留民團、幼稚園組合、工場主等によりて維持せらるゝものである。第三には幼稚園組合事業の發達の結果、保姆養成の必要上その養成所が設けられた。第四に公立の幼稚園を設立し得る州の學校令が發布された。第五に地方に於ける教育課が、一部分、後には全部、幼兒の保育及び養護を司るやうになつた。最後に州立又は市立師範學校中に幼稚園保姆養成所を置き之を完全なる正規の一部門とするに至つた。之を要するに最初は極く一部分に贅澤の爲め又は慈善的に設立された幼稚園が漸次發達して公衆の注意を惹くやうになつて遂に州の法令によりて公立のものとなり、又其等の特別の研究機關をも置くやうになつたのである。

## ○幼稚園の任務

幼稚園は家庭と學校との中繼をする所であると

はフレーベルの述べた所であるが、その中繼殊に幼稚園と小學校との間が旨く行かないとは一般に認められる所である。蓋し幼稚園は play 遊びの處で、小學校は work 仕事の所であるからである。今までは氣まゝに遊戯に耽つて居たものが、急に机に向つて一定の時間だけは几帳面に授業を受け、その授業も従來のものとは異つて、讀んだり、書いたり、勘定をしたりするやうになるので、兒童の多くは小學校に對する興味を失ふやうになるものがある。それでは一方には全く幼稚園に入れないで、直接小學校に入れた方が結果がよいと主張するものがあるが、又他方には小學校に入學した兒童がどうも落ついて授業を受けないといふので一二月幼稚園に送り、それより小學校に取りもどしたら、すつかり善くなつたと報告するものもある。要するに幼稚園では自由開放主義であるのに、小學校では一定の目的に向つて誘掖指導すると云ふやうに制限的である爲めに、その間に間隔があるので



ある。フレーベルが読み方及び書き方を教ふるには児童の自然的欲求の盛になつた時、謂はゞ習ひたくてたまらなくなつた時に教ふべしとは、彼がその書の中に擧げた話、リーナが其の母にせがんで漸くリテナ *Lina* の字を習つた例に見ても明らかである。この自然の成行に委せて無理をしないと

いふことは、蓋しルナーの教へ方で、その方法を實際に行つて居るのはアルバマ州フェアホープのジョンソン夫人である。同夫人の設立して居る學校は小學校で幼稚園ではないが幼稚園の教育法を小學校にも採用したのである。即ち同夫人の主張する所に依ると、児童をして自由に楽しく學業を勵み、身體も精神も、不合理な束縛を與へられることなく、伸びゆくして成長するやうに教育するといふことで、第一に教科書のやうな形式的で融通の利かないものは初年級には用ゐないことにして居る。文字の読み方も九歳乃至十歳以前には教へないし、書き方も綴字も同様である。然らば

ジョンソン夫人の學校の児童の讀書力は非常に劣つて居るかといふに、最初の間こそ教へないから劣つて居るが、十二歳頃になると普通の小學校児童以上に讀書力が發達するといふことである。

かやうな新施設に就ては尙多くの研究を要する事で直ちに各州の公立學校に採用するといふには種々の異論が起つてくる。それでジョンソン夫人程極端に改良を施すものはないが多少從來の規則に變更を加へて、小學校と幼稚園との間隔を塞がうとする企ては諸所に起つて來た。例へばケンタツキーのレキシントンではモンテッソリーの方法を採用して小學校と幼稚園との間隔を塞ぐ様にして居る。又或る所では小學校八ヶ年を九ヶ年として六歳の入學期を五歳とし、最初の一年を豫備學級として幼稚園と小學校とを混合したやうな教授をして居る。或所では毎日の課業を二分し、同一の児童を午前科と午後科とに出席せしめ、午前には純粹の幼稚園の作業を課し、午後には小學校の第一

學年の初歩の課業を授くるやうにして居る。或は幼稚園児を二分してA組とB組とし、午前にはA組とB組とに、共に幼稚園の作業を爲さしめ、午後にはB組にのみ第一年級の課程を教へる。併しこの制度は保母を多く使ひ過ぎるといふ非難がある。即ち以前は午前だけ幼児の保育に従つた時代には、午後は幼児の家庭訪問、母の會、又はその他自己の研究に資する會合又は學校に行くことが出來たが、かやうに午前と午後とに出勤しなければならぬやうになると、その隙がなく、是等の仕事は學校醫、看護婦、母の會、父兄及び教師の會の手に移され、自身の修養も出來なくなるといふのである。それで或市では午前午後の科を設けたが又元のとほり午前だけ出勤するやうな舊制度に還つたといふことである。

或る市にては又一年を二期に分け、最初の二十週間を幼稚園とし、後半學期を一學年の豫備として居る。或は六才又は七才になれば必ず小學校に

行くべしとは規定せず、教師又は父兄の見込によりて、幼稚園に止め置く方がいと考ふる場合には、尙半年なり一年なり、幼稚園に留め置く様にして居る所もある。この方法は教師又は父兄の兒童の身體及精神に對する鑑識力が發達して居ない場合には、往々正當安全なるより、より多くの日數を幼稚園に暮さなければならぬやうな危険を幼児の上に生ぜしめる場合が豫想せらるゝけれども、先づ適當な方法として採用されて居る。

### ○保母の資格

合衆國は各州その法令を異にして居るので、總括的に云ふことが出來ない。しかしその主なるものを列記すると左の一に該當するものが嫁母たるの資格を有することになる。

(イ)保母養成所卒業のもの、

(ロ)ハイスクール卒業後二年乃至三年間幼稚園にて實地の經驗のあるもの、

(ハ)教育局にて施行せる保姆試験に合格せるもの、

(ニ)小學校教員免許狀を有するもの、

(ホ)カレッヂ又は師範學校を卒業せるもの、

之を要するにハイスクール卒業後少くとも二年間の専門的課程を卒へたものが保姆となるやうである。しかしその程度も各州まち／＼であるので之を統一し、一定の標準を立つることが急務であると絶叫する人も尠くない。而して現時保姆が知つて居らなければならぬ事項は大凡そ次の各項であると考へられて居る。

(1)生理學及び心理學の方面より見たる兒童身心發達の研究、

(2)幼稚園を如何に發達せしむべきかの方法並に理想の研究、

(3)保姆をして幼稚園に於ける作業を習熟せしめ且つ小學教育に對し兒童をして準備をなさしむる諸事項の研究、例へば音樂、技藝、文藝、自

然に關する研究、

(4)幼稚園に關する原理を悟得し且つ其を充分に適用するに至るべき實際的教授、

(5)幼稚園と小學校との關係、幼稚園と兒童の母並にその環境との關係に就ての研究、

(6)保姆自身の進歩を促すべき諸事項、例へば作文、表情、公衆に對する演説、家事科等の研究、

此等の諸事項を修得するのには、ハイスクール卒業程度を基礎とし、その上に幼稚園教育に關する理論及實際を授けなければ不充分であるといふことは、殆んど一般に認められる所で、ハイスクール卒業後、保姆養成所に入學するやう規定せらるゝ都市が尠くない。ハイスクールといへば小學校八學年を修了したる後入學する所で、三ケ年乃至四ケ年の課程である。その後保姆養成所が二年乃至三年とすると、小學校に入學してから十三年乃至十五年の修業が無ければ保姆となれない譯で、従つて我國の保姆資格を得る年數よりも多い

ことになる。而してその保母養成所は最初幼稚園組合の設立にかゝるもの又は私立のものゝみであつたが、今では州立又市立の師範學校、カレッジ、大學の一部分となる所が多く、その傾向が増加して居るのは社會一般に幼稚園教育の必要を認め優良の保母の必要を感じるに至つた結果である。

### ○幼稚園の效果

幼稚園教育は果して效果があるか否かに就ては、今尙議論のある所で、一方には無暗に其の効果を推賞するものがあり、他方には全く其の價値を疑ふものがある。併し幼稚園の數が年々著しき割合に増加し行き、且つ公立學校の一部と認めらるゝようになるのを見ると、慥かに幼稚園教育の效果が認められつゝある一の證據と云ふべきである。今北米合衆國教育局で、各都市の督學官長、小學校初等科の視學、及び小學校初等科教員に手紙を送りて、其の效果に就て答案を求めた結果を

總括的に示すと次の如くである。

先づ幼稚園教育の長所とすべき點は、

(1) 社會的本能が著しく發達し其働的動作に熟練せること。即ち園兒相互に睦ましく遊戯し作業すること。

(2) 自己にたよる力が發達せること、即ち自分で工夫し案出する力に富むこと。

(3) 注意集中の力が發達せること、即ち教師の言動又は教室内の作業に注意する習慣が早くより養成せられて居ること。

(4) 手工、唱歌、遊戯に熟達せること、

(5) 數、形、色に關する知識が發達せること。

(6) 自己發表殊に言語による發表が發達せること、(これは殊に移民の兒童即ち兩親が英語を話せない子供は幼稚園に入れると早く言語を覺え小學校に入學する際には先づ差支ない位に話すやうになるのである。)

(7) 教師に對する、又は教室内に於ける躰の宜

しきこと。即ち教師の命令に従順で、且つ利口に相當に動作すること。

(8) 學校に對する興味強盛なること。

之に對し其の短所とする點は次の如くである。

即ち、

(1) 教師にのみたより、獨力で作業する精神に乏しくなること、

(2) 幼稚園にありて氣まゝに遊びたる習慣ありて教室内にも作業に對し、兎角不眞面目なること、

(3) 注意散漫の傾あること、

(4) 多辯なること、

(5) 教師を遊び對手のやうに考へ、不從順に傾き易きこと、

(6) 規則正しき學科に對し興味を缺けること、  
今この長所とする所と短所とする所とを比較するに、一方では善いといふのを一方では悪いといつて全く相容れない點もあるし、又一方に長所と

せらるゝ點が過ぎて却て短所となつた點もある。かやうに諸種の弊害があるから、若し主婦が充分に幼兒の養護をなし得る餘裕があるならば、却つて幼稚園に入れない方が其の結果は良好である。しかし兩親の無い孤兒や、兩親があつても幼兒の身心の發達に對する智識に缺くるか或は智識があつても、家庭の事情、例へば貧困の爲めに之に留意するの餘裕のないもの、或は英語の話せない移民の兒童に對しては幼稚園教育が必要であると主張する者も決して尠くない。今前に列記した長所短所を善く吟味して見ると、一方に保姆その者の宜しきを得、又他方に第一學年擔任の教師その者の宜しきを得れば、益々幼稚園の長所を發揮し、短所を芟除することが出來さうに思はれる。それは幼稚園の効果を認むる有識者が漸次増加しつゝあるに徴しても明かである。

### ○幼稚園教育に關する原理

今茲にフレーベルの幼稚園教育に關する原理並びに實際的方法を紹介するの要はない。たゞフレーベルの思想が合衆國に輸入せられてから、どんな風に變化したか、又如何なる新しき思想が附加せられたかを簡單に紹介しやうと思ふ。近時に於ける兒童に關する智識の發達並びにフレーベル時代の思想と現時の思想との相違よりして、フレーベルの恩物は幼兒に對して、餘りに制限的であるとか、その原理は神秘的で實際に通用せしむべく困難であるとか、もつと物語を奨勵すべしとかいふやうな批評が下されるやうになつた。併し尙保守的にフレーベルそのまゝの思想を宣傳しつゝある教育者もある、それは獨乙の理想主義の影響を受けた、つまりカントやフイヒテやヘーゲルあたりから脈を引いてゐるブロー女史及び同女史の後進等である、是等の人々は後方のみに注意して、チツトも前方を見やうとしないものであるから稍時代おくれの感がないでもない。これに對してフレ

ーベルとは多少異つた方法を採用して居る所謂新教育なるものがある。次ぎにはこの新教育を少しく説明してみやう、今便利の爲めに是等の説を大別して次の四種にすることが出来る。即ち(一)中心主義、(二)自由遊戲主義、(三)産業主義、(四)自動主義が之である。

(一)中心主義教育法は凡ての活動が一の中心を有してゐて、恩物、作業、遊戲等はその中心題目を説明する爲めに使用せらるる如き方法を云ふのである。紐育市のベトリア俱樂部にて五十弗の懸賞を以て募集された教案の如きはこの好例である。今その第一日の教案を擧ぐると次の如くである。その題目は例の黒奴開放で有名な大統領エブラハム、リンカーンである。

朝の話、ケンタツキに於けるリンカーンの生家、リンカーンの母、インヂアナに移轉、三方が壁になつてゐる小屋、エーベの木の葉で出來た寢床、親切なる繼母、學校時代、貧困なるに拘らず

彼の父が自重心、歎待の念に富むこと、如何に數學の問題を解決したか、如何に書方を習つたか、最初の金儲け、彼の平たい小舟、

恩物、(一)三方が壁になつてゐる小屋、(二)シヤベルとエブラハムの四個の愛讀の書、(三)平たい小舟、(四)彼が働いた爐、(五)彼が隣人に宛てた手紙

作業、切り又は糊づけする、シヤベルの形に紙を切りとり、板紙に貼る、リンカーンが困難な仕事を忠實に勧めたことを話す。

かやうに或一定の題目が各種の恩物、作業、遊戯の中心となつて居ることは、非常に面白い考へであるが、ブローの云つたやうに心理學上、重大な誤謬に陥つて居る。この主義は元來ヘルバルトの考から出たもので感情や意志よりも知識を重んじ、又その知識は諸種の分子の綜合構成の結果であるとして、兒童の精神發達を度外視し、大人の頭で合理的に構成した知識を、外部より兒童に注

入しやうとする缺點に陥つた。ホルルの云つたやうに兒童は民族發展の歴史を繰返すもので、決して、最初から高等の思想や情操を有して居ないから、この中心主義教育方法は正しいものとは云へない。

(二)自由遊戯主義の教育法はルソーの思想を幼稚園に流入したものである。兒童は教師によりて規定された目的の爲めに行動を制限せらるゝのは兒童身心の發達に害を及ぼすものである。彼等の欲するまゝに自由に遊び、作業するやうにすべきである。兒童の精神を觀察すれば、フレールを用ゐた色紙や形に對し興味を有することなく、もつと具體的のものが興味を中心となる。又手さきのみを動かす運動は身體の發育に害がある。もつと原始的な粗雑な筋肉が最初に發達するから、其等の筋肉を動かす遊戯や運動を奨励すべきである。例へば毬投げ、石投げ矢を射ること、ウオークダンス、マーチ、戦争ごっこ等の原始的でしかも

全身を動かすやうな運動が宜しい。發生的見地より兒童の心理状態を研究する學者にこの考を有するものが多い。かの有名なスタンレーホール

の如きはその主張者の一人である。氏は又嘶をも奨勵し、その題材も、兒童は野蠻人の精神と同じく、原始的の神話が彼等の興味を惹く。兒童は又最初動物に對し興味を有し、漸次に植物、無生物、抽象的事項と彼等の興味は移つて行く。自然現象も兒童の注意を惹くことが早く、空、星、月、雷霆、雲等を彼等は驚異の目を以て見る、それでの順序に彼等に知識を與ふるやうにしなければならぬ。従つて幼稚園の保姆たるものはもつと自然に關する研究を積む必要があると述べて居る。要するに此の主義では恩物でも、遊戯でも、もつと種類を多くし、自由に彼等の選擇に委せて彼等の身心の發達を計るやうにせよといふのである。

この主義が實際的に行はれたのはカリフォルニアのサンタバルバラに於ける公立幼稚園であつ

た。今、月曜日に於ける幼稚園日記を述ぶると次の如くである。

『愉快な朝だったので戶外でマーチをしたり唱歌を謠つたりした。一人の子供が組長に選ばれ他の生徒は之に従つた。單列になり複列になり直線になり、圓形になり、早く歩み、又は遅く歩んで行進した。其後兒童の小さき脳髓によりて案出された行進法をやり、又自由に選んだ唱歌をしたり、兒童が任意に自己の好きの歌を謠つたりした。

九時三十分になりて教室の方に行進し行き、室内にて坐席を取る。いつもの朝の嘶をなす。嘶は「狼と鶴」と云ふのであつた。兒童に狼と鶴の色附繪を示した。話しの後子供等は紙にその繪を書いた。後五分の間隨意に兒童をして黑板に繪をかゝしめた。

十時五分より十時二十五分まで休みを與へた。

例の如くフットボール、砂弄り、ブランコ、高飛等をなさしめた。中略



十時五十分より十時五十五分までは拔萃帖を眺めさせ各自自由に話をすることを許した。

十一時五分より十一時二十五分まで休み

十一時二十五分より同三十分まで坐席の方へ行進をした。

十一時半より同五十分まで幼稚園の遊具を各自の選擇に委せ取出して遊ばしむ

十一時五十分より十二時まではその遊具をしまわせ、唱歌を歌はせて退散せしめた。』

しかし自由遊戯主義に反對するもの、例へばプロの如きは批評を下していふに、子供は民族の歴史を繰返すものであるといふことから、單に本能に基づく粗雑な遊戯を奨励し人間の理想や價値を顧みなくなると、子供の行動は向上純化せらるることなく、益々野蠻的行爲に墮落するようになり、従つて眞の意味の自己活動が出来難くなる。要するに人生の價値といふことを教育の目的より除去したならば、教育は何等の價値もないことに

なると。勿論極端な自由遊戯主義はよくないかも知れない。しかしホルルの考は兒童をして何時までも本能的遊戯に耽けらしめよといふ意味ではない。兒童が本能的に行動する時季から、已に成人と同一の思想や行爲をなすものと假定して、教育せらるゝのが宜しくないと排斥したのである。兒童は最初本能的行動に富み叡智的行爲に乏しいから、最初はその本能的行動を充分利用して身心の完全發達を計り、且つ之を叡智的行爲に導くやうにしなければならぬ。要言すれば兒童の身心の發達に想應した教育をなし、彼等の完全發達を計るやうにすべしとの主張に過ぎない。

(三)産業主義の教育法は、前の自由遊戯主義が幾分個人の發達といふことに重きを置いたのに反して、社會協働の精神を充分に養成し、個人は社會の一員として働くやうにしなければならぬといふ風に社會並に産業を非常に重く見るのである。従つて幼稚園も學校も一つ小社會と看做し、且つ

出来るだけ是等を社會化し、以て他日の準備にするのである。この産業教育を發生的見地より出立したものはドツプの主張する所のそれである。ドツプ(K. E. Dopp.)は現時社會の發達を研究し、原始民族の社會に於て最も興味を中心となり、且つ長く續いた活動は家事的工業であつたことを發見し、その本能的行動は又現時の民族にも其の幼少の時に現はれるものであるといふ考から、兒童の作業としては、料理、洗濯、掃除、等が最も適當し、それより、漸次諸種の實業に導くべきであると主張して居る。家政的遊戯に兒童が興味を有することは、ドツプの云ふ通りであるが、斯様な極めて狭い範圍に兒童の活動を制限するといふことは果して教育上宜しきかといふことは疑問とせらるゝ所である。次にこの實業的原理を尙一層擴大したのはデュウイー及びその學徒である。

デュウイーによると幼兒の大切なことは彼等の身體的機關を外界事物に對して旨く調整して行く

ことである。従つて彼は最初下等動物が出立した所をも學ばねばならぬし、彼の目と手とを如何にせば同時に旨く働かすことが出来るか、又目と耳とを如何にせば共に働かすことが出来るか、又彼の身體的機關によりて外界事物を如何にせば旨く取扱ふことが出来るかを實地の試験によりて發見體得しなければならぬ。次に幼兒に向つて最も大切なことは他人と共に生活して行くことである。従つて彼は自己の行動を旨く調整して社會に順應するやうに教育せられなければならない。故に兒童に與ふる材料も兒童の身體的統御と社會的順應との見地から選擇しなければならぬと主張して居る。

この實際的生活に對して自己の行動を統御順應せしむるといふデュウイーの思想は紐育のテイチャースカレッヂ附屬幼稚園の實業的遊戯に於て最もよく表はれて居る。同幼稚園は其大學の幼稚園部長初め、凡ての保姆がデュウイーの思想を受け

ついで實際に行つて居るので誠に參觀しても興味のある所である。今一例として作業の一部を示すと次の如くである。

茲に水車小屋を作らうとすると、先づ實際の小麦や玉蜀黍の粉を入れる袋を作らせる。水車小屋が川の側にあるとすれば、川を白墨で以て床上に畫いてやる。そこに一の問題が起つてくる。それは即ち橋を架けるといふことである。只橋を作る材料を以て來て今から橋をかけやうといふのは全く違つて居る。同一の題目でもその提示の仕方で社會的效果に大なる差が生ずる。兒童はこの際自己の作業の目的を知つて居る。而してその目的に適應するには如何なる材料如何なる作業をなすべきかを判断し、實驗することが出来る。兒童は爲めに教師から橋はこんなものだと注文的に話されて不明瞭な觀念を得るのと異なり、實際に車を曳いてその橋を兒童が渡らなければならぬ。而してこの幼稚園にては床板に用ふる板が用意してあつ

て、その板は兒童が車や玩具の人形をのせながら曳いても折れない位厚い丈夫な板で出來て居る。かくして實用に適する橋が架けられるのである。

此の他小屋を作るにも、物置を作るにも出來るだけ實際的にして、兒童が自由にその家に入出して玩具の人形、家具、家畜等を排列し得るやうにするのである。而してその出來上つたものも、實用に適するや否やが直ぐに判明するから、兒童は種々に工夫し訂正するやうになる。かのモンテッソーリが兒童教育の本旨は自分で訂正し工夫して行くやうに兒童を振り向けるやうにせなければならぬと主張して居るが、モンテッソーリの用具は社會の實生活と没交渉の處がある。

然るにこの幼稚園のやり方は人生に觸れて居るから、兒童は實際の目的に適するや否やを實際生活の上から判断し各自に訂正工夫するやうになるのは當然のことである。又モンテッソーリの用具は一定の制限があつて、その中から兒童が其の好

む所に従つて選擇し得る自由が與へてあるとて、其の自由といふことを大きく云つて居る。しかしモンテッソリーの兒童は與へられた玩具を見て初めて引起された現在の衝動から或種の玩具を選擇といふ外別に兒童の選定を教育的に指導する所がない。之に反してこの幼稚園のやり方では實社會に觸れた問題が不知不識の間に提供され、兒童が自然に或る材料を選擇といふことが已にその問題の解決の第一歩で、其の解決が當を得て居るか否かは、眞に實用的に分かつてくる。

この社會的產業的教育法は慥かに進歩した考方であるがブローの云つたやうに人生と産業とを共立的術語のやうに考ふるは如何であるか。又餘まりプラグマチックに傾き過ぎて居る。兒童の精神を觀察して見ると、非常に想像力に富み、神話、お伽噺を好むものである。この社會的教育法にてはかやうな想像作用の方面を閉却して居るといふ嫌があると批評せられるのである。

最後にモンテッソリーの唱導した自動主義の教育法であるが、その方法に就ては今茲に管々しく紹介する必要はなからうと思ふ。只茲には實際家並に理論家によりて下された批評を紹介しやうと思ふ。モンテッソリーの方法は本國の伊太利では殆んど閉却されて居るし、又同女史の經營する子供の家も餘まり隆盛でないといふ點から、頭から排斥し去るのは當を得て居ない。私はモンテッソリー女史の演説をもきき、又その方法を行つて居る幼稚園の教育をも參觀したが、舊來の法よりも大に勝つた所が多い。米國ではモンテッソリーの遵奉者が多いだけに又一方に批評も大分に多い。

先づモンテッソリーの方法では感官の習練といふことを唱道する。所が感官が習練されると、恰も望遠鏡のレンズを改良するが如くに、眼や皮膚や耳が發達するものなるや否といふことが現時の心理學及び生理學では未だ判然して居ない。發達するといふものと發達しないといふものがある。

發達しないといふ説は更に二つに分かれる。即ち

其の第一の方の説によると、例へば眼を練習することによりて望遠鏡のレンズを改良する如くに眼そのものを改良することは不可能であるが、しかし兒童が或一部の事を辨別する様に練習せらるゝときは他の辨別作用の時もその練習の効果が表はれる。例へば鳥を観察するやうに練習されたものは木や家をより善く觀察することが出来る。即ち一部の練習が全部の能力に移つて行くといふのである。第二の方の説は一部の練習は一部の練習に止まつて居て、全部の練習とはならないといふのみならず、又此の一般的能力といふことをも否定して居る。而して近時の心理學者は此説に傾くものもある。處がモンテッソーは此の方向の心理作用を明かにせず、只感官教育の目的は單に兒童をして色、形事物の種々の性質を知らしむるに止まるものでない、彼等の感官を改善すると云つて居る。果して同女史のいふ通りであるかは既に

述べた通り疑問である。

次にモンテッソー教育法中最も主要の點となり、且つ稱贊を受けて居るのは自由の原理である。從來の幼稚園では一定の教案があつて、兒童は教師の提醒によりて、其の方向に導かれるのであるが、モ女史の方法にはこんな細かな教案はなく、兒童が自分の好きな道具を出して自由に遊ぶやうになつて居る。しかしその選擇に供する材料には制限があつて、フレーベルの材料よりも遙かに數が少ない。而してその選擇された材料では充分に兒童の自己發展をなさしむるに足りない。例へばモンテッソーの教室を參觀すると圓筒を板上の穴に入れることをせず、之れを車の代用にして居る子供があり、又色糸をまいてある糸巻きで家を作らんと試みる兒童もあるといふ風である。この自由の原理と關聯して居るのは自己訂正の原理である。これも材料の不完全の爲めに充分に行はれ得ないことは既に述べた通りである。

次にモンテッソリーの教育法は個人の發達といふことのみ主としてゐて、社會の共同生活に順應するやうに兒童を教育することを、念頭に置いて居ないやうに見える。尤もフレベールも團體本能が發達して、相互に幸福に生活するに至るまでは充分に個人的發達に注意すべしと言つては居るが、その團體的本能をモンテッソリーほど無視しては居ない。

又モ女史の教育法で文字をよみ、書くといふことを早くより獎勵する點は往々批評の的となつて居る。實際家の言によると同女史のいふやうにそんなに早くから文字に對する興味が起らないといつて居る。尤も伊太利語と英語の文字の構成法が異つて居るから、同女史のやうに米國では耳にてきくことゝ、口にて云ふことゝ、手にて書くことゝ、同時に教ふることが出來ないといふ困難がある。

次に同女史の教育中最も大なる缺點とする點は

お嘶の時間がないといふことである。お嘶の大切なことは前にも屢々述べた通り幼稚園教育者が觀過すべからざる點である。

最後にモンテッソリー女史の態度が不明なのは宗教教育に關する點である。これは同女史も解決が充分につかないと見え、同女史は次のやうに述べて居る。『子供を自由に幸福に且つせわしくして置けば、兒童の宗教的精神は自然に内部から、恰も花の咲くやうに、咲いてくるものである』と。しかしこゝに疑問となるのは、この宗教的萌芽に對して、適當の肥料を與ふるの必要がないか。殊に兒童を觀察して居ると神や自然現象に對して質問をするとが屢々である。これに對して母や嫁婦が全く不關焉として居ることは正當であるか否かといふことは教育上重大な疑問である。

これで現時米國に行はれて居る幼稚園教育に關する理論と其の批評との大體を紹介したが、最後に一寸附言したいのは幼稚園協會の事である。

## ○幼稚園協會

米國には三個の大きい幼稚園協會がある。萬國幼稚園組合(International Kindergarten Union)國民母の會(National Congress of Mothers)と國民幼稚園協會(National Kindergarten Association)とである。

(一)萬國幼稚園組合は創立後二十年餘も經過し幼稚園の改良進歩に盡す所多く、殊に優良なる保姆を養成することに力を用ひ、毎年に行ける會合には又幼児教育に関する報告及討議が行はれる。又モンテッソリー式とフレールベル式との比較を實驗的に研究したる結果によると、モンテッソリーの方法も大に長所があつて、米國の幼稚園に採用するの餘地があるとは多數の人の意見であつた。

(二)國民母の會も亦幼稚園の發達を計る爲の會合である。元は幼稚園の教師が母の會に行つて漸く家庭と學校との聯絡を取つたのに、今は母の方

でも能動的になつて來た。或市の如きは、母の俱樂部又は保護者教員會ありて幼稚園設立に盡力し又は市が幼稚園の價値を認めて公立のものを設立するまで幼稚園を經營維持して居るものすらある。又母の會では子供の福祉を増進することに留意し、社會事業家とも共同して著しく其効果を擧げつゝある。

(三)國民幼稚園協會は最も近年に設立されたものである。幼稚園の利益を鼓吹する事に全力を注いで居る。而して數の上の發展計りでなく質の上にも改善を計りつゝある。而してこの協會は合衆國教育局の幼稚園部と共同して其の事業を經營して居る。(文責在記者)

米  
シヤートル市國幼稚園保育趣旨及び細目(千九百十五年制定)

東洋幼稚園長 岸 邊 福 雄

これは、私が彼の地の幼稚園から請ひ受けて持ち歸つたのであります。

私が、昨年の夏、文部省の保姆講習會にて講演いたしました米國幼稚園保育細目と對照して御覽下さいましたら、更に興味のあります事と信じます。

因に、右米國幼稚園保育細目は、殘本が今尙少々ありますから、御希望の方には、郵券貳拾錢送附下さいましたら分配いたします。

○幼稚園の二部教授

午前の組の保育時間は、九時より一時十五分。

午後の組の保育時間は、一時より三時十五分までにて、一組の幼兒數は二十五名。尤も最年長の組

即ち小學校に往く前一年の幼兒は、五十名までは差し支へない。

○スーザン、ブロー氏の說

幼稚園は、普通教育の課程の一つの形式であつて、其形式は、特に教育の定義によつて研究されるものである。

自發活動は、當今普通に是認せられたる教育の基本定則である。幼兒の第一の活動は、生得の衝動心によるとして知られて居る。幼兒は何等の目的があつて活動するのでは無く、只だ無意識に活動するのである。

併し此無意識時代は、幼兒發達の出發點であつて、兒童教育中最も意義ある大切なる時代である。



兒童は、人間、植物、動物等の周圍に接觸するにつれ、會話、唱歌、遊戲、圖畫、模型を作る事、建る事、及社會的協力に依つて、本能的に自己の身心を開發せんとするのである。

幼稚園は、材料及び實際の手段によつて、幼兒を奮勵せしめて、至高の満足を實現する様に指導するのである。而して、善の爲に働く生得の衝動心を愛育して、不良なる心性の萌芽を除去する事に務めるのである。

### ○教授ウ井リヤム、ジエー

ムス氏曰く

『吾人は、兒童に於てこそ、本能力の確乎たる順序に従つて成熟するを觀る。多くの本能力は、一定の年齢に成熟し、且つ又凋落する。然れども此時代に作くられたる習慣は、品性の一部となりて殘留するのであるを以て、時期を失はず、恰も鐵の熱したる間に之を打つが如く、手早く正確にせ

ねばならぬ』

と説いて居る。自發活動の主義を、幼稚園に適用する時は、單に幼兒が、常に何かして忙がしくして居るから、それで此の主義を徹底して居るとは斷じ難い。問題は印象及び發表により、最も進歩したる程度に、幼兒を指導する事が出來たか否やを知るのである。

もし、兒童をして、全く己の選擇するがまゝに任ずる時は、先見の明を缺くが故に、自己の欲する結果に、達する事の出來ない場合が屢々ある。

又、兒童に六づかし過ぎたる仕事をさせたり、或は之に反して、自己の全力を用ふるに及ばない出來易い仕事をさせる時は、いづれとも無趣味に陥り、終には冷淡なる心情を發生するやうになるさもなくとも、自然の自己奮發力によりて實現せらるゝ喜悅と満足とを失ふに至る。

又、目と手との訓練は、腦細胞を刺激する事と別離してはならぬ。何故かと云へば、目と手との

訓練をして、腦細胞を刺激する事をしなければ、全く機械的結果を生ずるのみで、教育の主眼たる幼児の心を覺醒さす事を、實現するのが出來ないからである。

### ○幼児をして覺悟せしむべき自由と幸福の道

兒童の社交的本能力は、發達しつつあるのであるから、之をよろしく示導せねばならぬ。又兒童には常に自己本位的に顧みると同時に、一方に於ては、人類に於ける自己の關係を知らせねばならぬ。

即ち自己の利益と他人の利益とは、互に關聯して分離する事の出來ぬと云ふ眞理をよく悟らしめねばならぬ。而して兒童には、他人の權利に干渉する事を差し止めねばならぬ。

教育の課程の進むにつれて、兒童は全く示導者の導くがまゝになるものである。それは兒童には、

少しも先見の明がない爲に、自己の行爲の遠き將來に達する道順を知らないからである。

併しながら幼稚園に於ては、兒童の行動及び種々の活動の選擇の自由は、本人及び他人の進歩の妨げとなるものゝ外は、成るべく禁止しない方がよい。それによつて活動主義の適用せられたる事となる。

兒童をして常に自己の務めを嚴格に遂行せしむるに付いては、少しの矛盾なきやうに仕向けなければならぬ。而して兒童をして、己に克つ事が眞正なる行爲の基礎である事を悟らしめねばならぬ。

克己は、即ち最高の自由及び幸福に達する唯一の道である。世の中の人間は、皆互々に深き關係を有するもので、互に相依り相助け合ふべきものであると云ふ思想を、兒童をしてしみく覺醒させねばならぬ。實に幼稚園は兒童をして、此等の關係を十分に含味さすやうに導かねばならぬ。

# 雛の節句と幼稚園

學習院女學部附屬幼稚園

野 口 幽 香

今までの經驗に據りますと、幼稚園の雛祭りには、保母自身が先づお節句といふものに對して興味を持つことが肝要であるやうに思はれます。保母が夢中になつて、先達ちになり、種々の計畫を試みた年には何時も子供に満足を與へ得て來たやうであります。

それで雛祭りをどんな風にするかといふと、先づ一日頃から、保母も幼兒も一緒になつて雛祭りの仕度に取り掛るのであります。上の組の幼兒達は疊紙で五人囃しや官女などを作ります、これは紙を適當に疊んで一ヶ所か二ヶ所へ缺を入れ、ばよろしいので簡單に出來上るのであります。而してこの紙雛様は保母の作つた紙雛様と一緒に壇の上へ飾られます、一番上に飾る内裏雛は私が子供達

の目の前で、矢張紙で拵へて見せます。而してこれには繪の具で模様を描いたりなぞします。お雛様の並ぶ壇も矢張私が作ります、これは菓子箱の古いのを探して來て墨を塗るのであります。これで先づ飾るべきお雛様の方は出來上るのであります。下の組の幼兒はお雛様に供へるお菓子の方を受持ちます、これはお三寶にチリ／＼紙を切り込んだり、蓮華の花を折つたりすればよろしいのであります。斯うして保母の拵へたものも幼兒の拵へたものも皆一所に飾るのであります。それから尚雛祭りには園に備へてあるあらゆる玩具を持ち出すことになつて居りますので、幼兒達に玩具を雛壇のところまで運ばせます。これが爲めに随分玩具をこわされますが、そんなことは關はず、

幼児にわざと運ばせて居ります。

扱て當月の三日となりますと、大きい幼児は保姆の指導の下に本當の食べられる豆煎りを拵へるのであります。豆煎りを拵へない幼児達はお雛様に供へるために草の花や露の臺や梅の花やを運動場の隅から集めて來ます。斯ういふことはすべて正午頃までに終つて了ひます。而して午後は愈々お雛様の飾つてある遊戯室へ椅子を運び、此所で豆煎りを食べるのであります。この時、幼兒はめいゝ思ひのまゝに、歌を唱つたり、お話をしたりするのであります。而していゝ加減に遊んだ時

分にお終ひにします。

當園では毎年三學期になりますと「人形の祝ひ」といふことをいたします。これは各組に一つ宛その組の人形がありますので、各組が日を決めて交り番にその人形の誕生祝ひを行ひ、他の組を招待するのであります。この時は人形に紋附の着物を被せたり、遊戯室を大食堂に充て、寒天の羊羹やお芋のちやきんしぼり等の御馳走が拵へられたりして却々の大騒ぎです。「人形の祝ひ」はつまり雛祭に味はるべき面白味を繰返すものと見れば見らるゝのであります。(文責在記者)

早歲幼稚園 久留島 武彦

當園では三月の二十五日が保育終了日になつて居りますので、雛の節句を幼稚園に於ける最後の楽しい會合の一に充て、居ります。而してこの意味をなるべく十分に現すやうに雛祭りをしたいと

思つて居ります。尙雛祭りには平常手の折れるまで、首のゆがむまで、遊び相手となつてゐてくれた愛玩の人形に對する感謝を現すために、五人囃の下の壇に是等の人形を飾つてやることになつて

居ります。お雛様は嘗つて清水晴風翁から贈られた享保雛を飾るのであります。これは随分古びたお雛様で、高さは一尺五寸以上ありません。その他にも土焼のお雛様や五人囃や官女等を飾りま

す。三日には幼児が「おひなさま」の唱歌をうたつて種々の遊戯をして遊びます、而してこの日には幼児全體に御目出糖を分ち與へます。(文責在記者)

○  
番町幼稚園 中 野 よ ね

三日には幼児が各自家庭で雛祭りを樂しみますから當園では特に二日の午後に雛祭りを行ふことに致して居ります。二月の末になりますとお疊の室(三の組の幼児の室にて二十四疊敷)の黒板へ繪を描いて屏風に見立て、その前に積木の箱を三段に並べます、而してこの上に當園に以前から備つて居る(幼児の父兄の寄附に係る)内裏雛と五人囃と官女とを飾附けます、而して幼児達は雛祭りの日を心に待ちながら毎日「ひなまつり」の歌をうたつたり、桃色と紫の色紙を選んで疊紙の内裏様を拵へたり致すのであります。この疊紙のお

雛様も雛壇に飾られます。扱て當日の二日になりますと午前中はお細工物の籠や三寶や角箱や手籠を拵へます。十二時少し過ぎになりますと一同お疊の室に集ります。この時大きい女の子達は皆主人役になり、男の子や先生達は皆お客様になるのであります。午前中一同によつて作られた種々の容器に豆煎り(鹽瀬製)が盛られて、四五枚のお煎餅と共に一同の前に供へられます。それから「おひなさま」の歌を唱ひます。進み出てお話をしてくる子や餘興を演じてくれる子があります。一同は豆煎りやお煎餅を食べながらこの餘興を見たり聞いたり致して居ります。而して大抵二時頃になると右を終つて一同解散いたします。(文責在記者)

# 菱餅の話

## 三節尾村

菱餅とは菱形せる餅の義なり、三月三日に餅を作るに、初は鼠麴草はぐくまを用ゐるしが、何時の頃よりか蓬を用ゐて製する事となりぬ、支那にては、三月三日鼠麴草の汁を取り、蜜と合せ粉に和して作れり、本邦にても此に倣ひしならん、嘉祥二年に、民間にて、本年の三月三日には饅を造るべからず、そは母子がなきが故なりとの訛言前兆をなし、此三月に仁明天皇崩御し、次で其母嵯峨天皇皇后橘嘉智子崩せり、田野に生ずる母子草と云ふ草あり、二月始めて芽を生じ、莖葉白くして脆し、當時三月三日ごとに、婦女採りて蒸し擣きて饅を作るの俗なりしが、本年此草繁生せざるに非らざるに、此訛言ありしは、天其口を假りしなりと、史冊に見えたり、其饅の形は如何なりしならんか、知るべからず、此の如く鼠麴草の饅なりしが、後世には其色の美ならんことを欲し、蓬を用ゐる青粉を和して作りしが、江戸にては、初は蓬を以てせしかど、後には青粉を用ゐるのみに至れり、菱餅を雛に供ふるには、菱形せる黒塗の雛模様の蒔繪を施したる臺に、菱餅三枚を重ねて載せたり、中に白色の餅を用ゐるは色彩の調和の爲めなり、女子の初節句には、親戚故舊より雛人形或は雛道具等を祝物として贈られたる返禮に、菱餅を遣す風習ありしが、今は絶えたるが如し。

# 室内装飾に就て

大阪市西區本田幼稚園

杉 本 リ ッ ツ

室内の装飾は今更申し上げる迄もなく誠に大切なものだと思ひます。普通の家でも装飾によつて其人の思好も察せられ又其方の品格も略々推察する事が出来ると思ひます。

斯く考へますとどんな家でも室内装飾に注意する事は必要と存じますが、まして、幼稚園の如き將來花咲き實を結ぶ所の美しい芳芽を有つて居る幼児教育の場所に於ては殊更に是等に注意する事が大切と存じます。而して装飾は世の進歩に伴ふ様にする事も又大切な事と存じます。

それで私の園では昨年の秋から室内装飾の模様を變へて見ましたので御座います。是迄は四季によつてそれ／＼の繪を書いて額面に入れ各保育室に五六枚づゝ掛けて装飾ともなし、又四季の氣候

の變化を幼児に具體的に知らしむるやうにつとめて居りましたので幼児も満足して居りましたが、近來は之もあまり嬉ばれぬやうに思はれますので何か現代の實際生活に觸れて居るものにしたならばと考へまして、二三の室を壁を利用して装飾を試みました。何分初めの事でありますので極く幼稚なものでありましたが幼児は非常に喜びと満足をして歓迎して呉れました、實際私共も愉快に感じました、人物も獸類も草木も出来る丈夫きく實物に似つかはしくいたしましたので、幼児は自分と同じお友達のやうに思ひまして、それ／＼壁の子供に名前をつけなどして喜びましたそれで第二回目の冬の部には各保育室をすべて壁に装飾を致しまして、従來の額を廢しました。而して幼児の實

生活を其儘に表はしまして説明を要せずして理解し得るものと選びました。其裝飾の種類の大略を申し上げますと、先づ遊戯室には幼児のお蜜柑取りで收獲の有りがたさと勞働の神聖なるを表現はし、次に第一保育室の幼児の正面には子供の掃除をして居る所、背面には子供のお正月の遊びを表はしました。次の第二保育室の正面はお客遊び、背面は雪の中にて雪達磨を作り元氣に遊び居る有様で、次の第三保育室の正面は節季の忙はしきお餅つき、これも子供が忙はしくして居る所であります、背面は金太郎のお相撲で色々猿だの、熊だの兎だの、と子供の最も好む動物が居りますので非常に歓迎されます。第四保育室の正面は捕鯨の壯觀、背面は四五人の子供が棒の花を拾ひ集めて睦まじく楽しく遊んで居る所であります。どの裝飾も或は勞働の神聖、或は勇氣或は友情などを意味し、幼児の實生活を其儘に表はしてありますので幼児は以前よりも一層嬉びまして全くお友達が殖

えた様に思つて私のお室の花子さん私のお室の一郎さんなど言つて遊んで居ります。

斯くしますと室の裝飾ともなり、又幼児の伴侶ともなりました。最もよいように思はれます。

それで此方法は幼児教育に効果があるように存せられます。

室の裝飾より日常の玩具衣服の良否などに至る迄注意する事は保母たるもの、最も大切な務めであらうと存じますので今後尙一層研究して見たいと存じます。

誠につまらぬ所感を申しましておはづかしく存じますが皆様何卒斯道の爲めと思召してこれにつきまして御批評、且つ御指導下さいますならば此上もなき幸と存じます。



# 色彩の心理 (三)

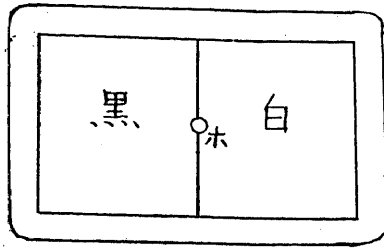
文學士 菅原 教造

## 十七 色彩の適應

色彩感覺は瞬間的の印象と、持續的の印象とで、かなりな相違がある。即ち刺戟の續く時間が長ければ、瞬間刺戟には見る事の出来ない適應と云ふ現象が起つて來る。適應とは慣れると云ふ事で、色彩感覺が慣れつこに成つて感じ方が鈍くなる事を云ふのである。例へば夕刻書齋にバット電燈が付いた其瞬間には、室内の壁や屏風や讀みさしの本などが、樺色の色で照らされる。此の樺色の光は、かなり吾々の注意を惹く。然るに夕刻の時がだんへんに進んで、もう日が暮れて外が眞暗に成る。今、食事の知らせを受けた自分は、一旦讀みかけの本から眼を轉じて室内を見廻はし、更に眼を返へして今まで讀んで居た本の色に注意を向ける。そして此の色は、先刻電燈の付き初めの時ほどに樺色を帯びて居ない事に氣が付く。換言すれば刺戟が長く續いた爲めに、樺色が追々に消えて了つて白つぽい色に變つて來たと云ふ事が分る。即ち樺色が眼に慣れて鈍く成つて、初めほどに感じなく成つたのである。これが即ち色彩の適應と云ふ現象である。適應と云ふ事は單に眼のみの現象でなく、味にも匂にも皮膚の感覺にも行はれて居る事で、總て官能上の經驗は追々に刺戟を強くしなければ、以前ほどに感じなくなる事は、吾々の生活に致へて珍らしい事でない。

扱て色彩適應の現象は、視野の廣狹と感覺の種類とから、各々二つ宛に分けて見る事が出来る。(一)視野の廣狹に依つて分類すると、全體適應と部分適應との二つになる。(1)全體適應とは視野全體に此の適應の現象が行はれるもので、最も適切な例は吾々が黒眼鏡を掛けた場合で、これは同時に直ぐ後に述べるやうに光感覺の適應を示すものである。次に吾々

圖 八 十 第



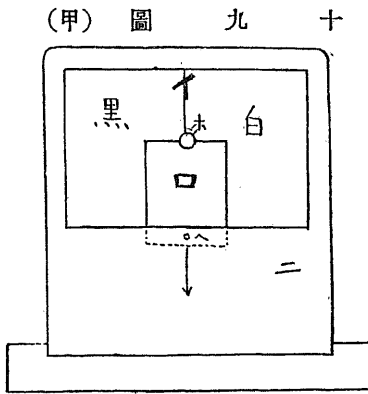
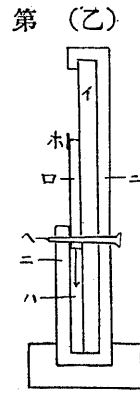
が色眼鏡を掛けたり、色硝子で外又は室内を見たり、或は電燈・瓦斯其他の色を帯びた光で照らされた室内などを見たりする時にも此の現象が行はれる。そしてこれは同時に色彩感覺の適應である。今此の全體適應に就いて、黒眼鏡と色眼鏡の例を少し述べて見よう。黒眼鏡の掛け初めには、眼鏡を通して見た世界は非常に暗く陰鬱である。併し一時間も経つうちに吾々の眼は自然に此の暗さに慣れて来て、別に暗いとも思はなくなる。色眼鏡や色硝子の實驗も、晝芝居などで良く經驗するやうに色の光で室内を照らされた時の經驗も、黒眼鏡の例と異なる所がない。即ち吾々は追々に視野全體に擴がる其色に慣れて鈍くなる。

次に(2)部分適應と云ふのは、視野の一部分丈に此の適應の現象が起るもので、これは全體適應よりは精確に器械を用ゐて實驗する事が出来る。併も此の現象は、光感覺と色彩感覺とに分けて記るさなければならぬから、直ぐ第二の分類に移つて、其處で之を精しく説く事にする。

今までは視野の廣狹に依つて適應の現象を二つに分類したのであるが、次に(一)感覺の種類に依つて之を分けると、光感覺の適應と色彩感覺の適應となる。以下部分適應の例を示しながら、此の二種の適應を説いて行く。

(1) 光感覺の適應の教授上の實驗には、第十八圖のやうに白紙と黒紙とを貼り分けた臺紙を枠に嵌めた器械を備へ、觀察者に(ホ)の點を一分間程凝視させる(觀察者は目叩きをして構はないが、視線を(ホ)から外してはならぬ)。觀察者が之を凝視して居るうちに、此の圖の白と黒の境界線に沿うて鼠色の雲のやうなものが現はれて、右と左へ擴つて、やがて全面を覆うて了ふ。そして左側の黒色の上に出る暗い雲は追々に白つほくなり、右側の白色の上の明るい雲は追々に暗く成る。言ひ換へれば光感覺の適應の結果として、白も黒も共に、一樣に中間の鼠の方に近づいて来る。即ち兩方から歩

み合つて中程で折合が付くやうになる。若し凝視時間が長くなれば、兩方の雲の區別が無く成つて、全體が一樣な鼠色に變つて了ふ。



然るに右の實驗では、白も黒も追々に鼠色に變るので、白や黒が急激に鼠色に成るのでないから、觀察に慣れない人はそんなに著しい變化があると云ふ事に氣が付き難い。第十九圖の(甲)は、此の光感覺の適應を最も明瞭にくっきりと示す實驗裝置で、(乙)は之を横から見た切り口を示すものである。(イ)と云ふ白黒の板の前に、(ロ)と云ふ鼠色の板を、(ハ)と云ふ釘で留めてある。(ホ)は凝視點である。(ヘ)の釘を抜けば、(ロ)の鼠色の板は、(ハ)と云ふ溝に落ち込むやうに成つて居る。(ニ)は枠である。

實驗の手續は、先づ(甲)に示したやうに、(イ)の白黒の板の上に、(ロ)の鼠色の板を留めて、觀察して一分間程(ホ)の點を凝視させる。そして突然(ヘ)の釘を抜いて(ロ)鼠色の板を溝へ落下させる。觀察者はやはり(ホ)の點を視つめて居なければならぬ。此の時今まで(ロ)鼠色の板で覆はれて居た部分が初めて觀察者の眼に映じて来る。此の初めて現はれた白黒板の部分と、今まで眼に慣れて居た白黒板の部分とを比較すれば、光感覺の適應の現象を、かなり明瞭に認める事が出来る。

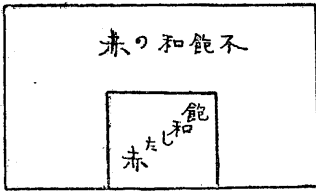
(2) 色彩感覺の適應の實驗も、之と同様にして行ふ事が出来る。裝置は第十九圖の器械を用ゐて、(イ)を赤色の板にして實驗するのであつて、適應の結果は第二十圖の(甲)と全く同一である。即ち今現はれたばかりの部分には飽和した赤を示して居るけれども、既に眼に慣れた部分は不飽和化して鼠色を帯びて見える。又第十八圖の裝置のやうにして赤色が追々に鈍化して不飽和化して来る徑路を實驗する事も出来る。そして茲に注意しなければ

ばならないのは、光感覺の適應の場合には白と黒とが共に中間の鼠に近づいたのであつたが、色彩の適應の場合には、其色が不飽和化し、中和して消滅しやうとする傾向を示してゐると云ふ事である。然るに或る色が中和し消滅しやうとすると云ふのは、反對色の所で述べたやうに己と正反對の色と相討ちをして互に死ぬると云ふ事ではなければならなかつた。即ち茲で適應と混色との間に一定の關係が成り立つて來る。

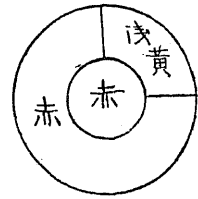
## 十八 適應と混色と關係

適應の現象と混色の現象との間の密接な關係を、先づ色彩の適應の現象から述べよう。第十四章「餘色・補色又は反對色」の所で、餘色同志を(1)適宜な分量に混ぜると、白又は鼠に成つて兩方の色が消滅し、(2)適宜でない分量に混ぜると、分量の多い方の色が不飽和に成つて即ち鼠色化して現はれると云ふ事を述べた。此の(1)兩方の色が消滅して白又は鼠になると云ふ事は、即ち模範的の中和となる現象で、(2)不飽和になる鼠色化すると云ふ事は、不完全な中和と云ふ事を示すものである。今前章で述べた色彩感覺の適應の現象と、此の餘色の混合より生ずる不完全な中和の現象とを比較して見る。第二十圖の(甲)は赤色の板を以て試みた色彩感覺の適應の實驗を示すもので既に適應した部分は不飽和と成つて中和し、今現はれたばかりの赤は飽和して見える事を示したものである。(乙)は互に餘色を爲す赤と淺黄とを適宜でない分量に(此の場合には赤を多くして)混合し、中央に飽和した赤を重ねたもので、廻轉の結果は中央の赤は飽和し、周圍の混色は赤が不飽和に成つて現はれる。若し此の(甲)(乙)二現象の間に密接な關係があるとすれば、(甲)は(乙)に依つて説明される事になる。即ち吾々が赤を凝視して赤に適應すると云ふ事は、吾々の網膜の内に赤の餘色たる淺黄が出て來ると云ふ事を意味するものでなければならぬ。

第二十二圖 (甲)



(乙) 圖十二第



次に光感覺の適應を説かう。第十五章「中間色及び三基色」と云ふ所で、第五圖に於て差向ひでない二色を混ぜた時には、其二色の間に位する色即ち中間色を生ずる——例へば赤と緑とを混ぜると、其中間の色たる樺も黄も鶯も出来る事を述べた。そして此の法則は光感覺の適應——即ち白と黒とが適應の結果として中間の鼠に成ると云ふ法則と其形式を等しくするものである。

## 十九 所謂消極的殘像

適應は又殘像の現象と極めて密接な關係を有する。精しく云へば、適應の殘續的效果として生ずるものが所謂消極的殘像の現象である。何故に茲で所謂と云ふ言葉を冠したかと云ふ理由は、直ぐ次に述べる。先づ全體適應の現象に就いて此の兩者の關係を述べて行かう。

全體適應の現象として最も興味のあるものは、第十七章「色彩の適應」に擧げた畫芝居ゾイキの例である。畫芝居の幕合の觀覽席は、少し鶯色を帯びた黄色の光で一面に照らされて居る。今まで觀覽席に居た吾々（即ち眼が黄色の光に適應して慣れて居た吾々）は、立つて外の光に照らされて居る廊下や部屋へ來る。此の時自分の周圍のいろいろの物が、不思議に皆青色を帯びて見える事に氣が付く。勿論間もなく此の青い色は消えて了ふけれども、一時は適應の殘續的效果として、適應した色の反對即ち餘色的に總ての物が見える。色眼鏡を掛けた場合も之と同様で、例へば今まで掛けて居た黄色の眼鏡を急に外せば、白い物は皆青色に見え、黄色い物は白っぽく、其他の物は其固有の色に青色を混ぜた結果の色に見えて來る。一言すれば「適應した色」と「見える色」との關係が餘色的になるので、之を表にすれば後のやうになる。

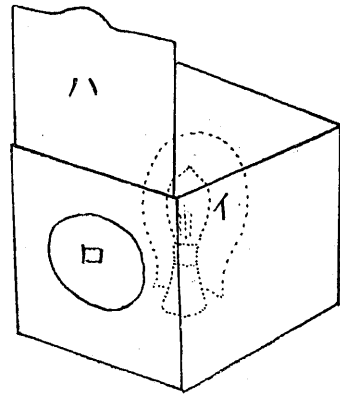
赤に適應すれば物が淺黄に見える

樺	"	"	勝色	"
黄	"	"	青	"
鶉	"	"	紫	"
綠	"	"	牡丹色	"
淺黄	"	"	赤	"
勝色	"	"	樺	"
青	"	"	黄	"
紫	"	"	鶉	"
牡丹色	"	"	綠	"
白	"	"	黑白	"
黒	"	"	黒	"

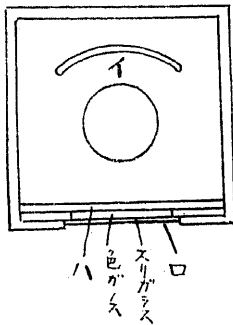
此の表に示したやうに、適應した色(即ち原像)と正反對の色が眼に残る爲めに、一般に之を消極的殘像と呼んで居るが、併し此の意味の名は通俗的のもので、決して科學的に認められて居るものではない。尙これに就ては第二十章に説く事にする。

次に部分適應の殘續効果としての消極的殘像に就いて述べる。生理學者の精密な實驗には分光色スペクトラムを用ゐなければならぬけれども、教授用の器械としては色硝子及び色紙の装置を用ゐて實驗する。第二十一圖の(甲)は色硝子を應用した殘像器械で、(乙)は其水平の断面を示したものである。暗箱の中に(イ)反射鏡を備へた電燈を點じ、(ロ)に磨り硝子を嵌めた窓があり、之にいろいろの色硝子を入れ代へるやうにしてある。(ハ)は窓を鎖す蓋である。實驗の手續は、(甲)に示すやうに先づ蓋を開いて、觀察者に明るい色硝子(例へば綠色)を半分間凝視

(甲) 圖一廿第

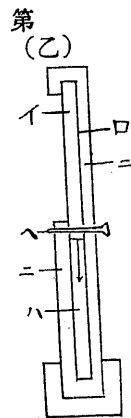


(乙) 圖一廿第

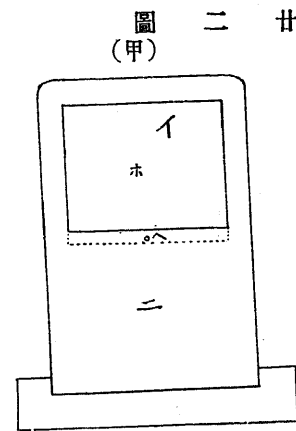


させ、次に蓋を落して窓を鎖せば其處に所謂消極的殘像(今の例では牡丹色)が現はれる。

第二十二圖は色紙を用ゐる實驗裝置である。(甲)は其正面圖、(乙)は横から見た切口を示すものである。(イ)は色紙の板で、(ホ)は其擬視點である。(へ)の釘を抜けば此の(イ)色紙の板は(ハ)と云ふ溝へ落下する。落下すれば(ロ)と云ふ鼠色の板が現れる。若し(イ)の色紙が赤であれば、(ロ)の鼠色の板の上に赤の餘色たる淺黄色と云ふ消極的殘像が現はれる。



若此の(イ)に第十八圖の白黒の板を用ゐれば、光感覺の消極的殘像が現はれて、白と黒の位置が原像と正反對になる。



此の色彩感覺や光感覺の殘像の實驗を土臺にして、いろ／＼な心理應用の美術的な玩具が出来る。先づ日本の國旗を消極的殘像にして出して見るのも興味があらう。其の爲めには原像を實物の國旗の正反對の色に作らなければならぬ。

背景は少し明るい鼠色にして、黒の旗地に淺黄の日の丸を付け、旗竿は白と紫の染め分けにして竿頭に青い丸を付ける。これを第二十二圖の(イ)に裝置して實驗すれば、美しい日の丸の國旗が殘像として現はれる。たゞし白や赤や黄や鶏などの諸色の出現には時間上の遲速があつて、決して各色同時に浮び出て來ない。或は殘像色の競技を審判して、其一着二着三着の時間を計つて見るのも興味があらう。次に吾々自身の家族の肖像を黒ブラックアンドホワイト、白、畫に、しかも白と黒と

を正反對に畫いた原像を作り、之を手を持つて凝視してから、室の壁一面に大きく殘像を投寫させて見るのも面白からう。但し此の場合に光を反對しない色紙を用ゐるやうに注意しなければならぬ。

既に色彩適應の場合に、第二十圖の(甲)(乙)に於て示したやうに、赤に適應すると云ふ事は、吾々の網膜の中に其餘色の淺黄が出来る事である——即ち適應とは原像としての赤と網膜内の淺黄とが相戰ふ事であるとすれば、今第廿一圖や第

廿二圖の實驗のやうに其赤を急に取り去れば、其跡、網膜内に生じた淺黄が投出されて來なければならぬ。これが即ち殘像である。然るに原像の赤を取り去らない内にでも、かなり明瞭に此の殘像の先驅が現はれる事がある。元來吾々の視線は決して器械的に凝視點(ホ)にのみ注がれて居るものではない。どうしても視點は上下や左右に動搖する。其結果として原像の周圍に殘像の色や光が滲み出して來る。例へば吾々が沙丘の上に立つて晴れた空の海岸に立ち並ぶ松の樹を見詰めて居るとする。實驗裝置のやうな約束的な凝視點に支配されない自然觀賞の場合には、いくら熱心に一點を見詰めて居る積りでも當然に視點の動搖が始まつて來なければならぬ。斯くの如くにして其松の樹の消極的殘像が、松の樹と青空との境に明るく滲み出して來る。此の頃の洋畫には往々此の滲み出した消極的殘像が畫かれてある。

又原像と消極的殘像とで混色を實驗する事が出来る。此の章の初めの所で、今まで掛けて居た黄色の眼鏡を外した例を挙げたが、此の時には明らかに原像と殘像との混色が認められる。黄色い物が白つぽく見えると云ふのは、黄色の原像と殘像たる網膜内の青色とが——即ち餘色同志混合して相殺して白つぽく成つたのである。此の眼で白を見れば青く見えやうし、赤を見れば牡丹色に見えやうし、緑を見れば淺黄に見えやう。熟れも全體適應の場合の原像と殘像との混色の現象である。次に部分適應の場合の原像と殘像との混色を述べよう。これは例へば黄色の紙を凝視してから眼を移して赤色の紙を見れば、黄の消極的殘像たる青と原像の赤とが混合して牡丹色が現はれる。故に展覽會などで甲の繪を見てから直ぐ乙の繪に移れば消極的淺像の影響を受けるから、乙の繪の色を變化する恐れがある。故に少し眼を休めて、此の消極的殘像を消して了つてから、乙の繪を見るやうにしなければならぬ。それから第十章「色彩感覺系統の第二方面——飽和」の初めの所に「尤も飽和は殘像や對比を利用すれば更に其度を増す事が出来る」と述べたのも、此の原像と殘像との混色の現象に外ならないので、例へば淺黄を凝視して(即ち淺黄に適應して又は網膜内に赤を生ぜしめて)から赤に眼を移せば、たゞ赤を見た場合よりも遙かに飽和して見える譯である。



# の一本日 年幼本日

□倉橋惣三先生監修

本誌は、三歳から拾歳までの子供の爲め美しい繪と、面白い噺とを、教育的に組み合せた他に比類なき繪雜誌です。殊に毎號教育的な手技附録を添へます。

本誌は、玩具とお噺しとの興味及び教育的價値を兼ねあはせたるもの、子供には何よりも喜ばれ、何よりもよき友達となる。

## 定價

壹冊拾二錢 □半年 郵税共七拾五錢  
郵税壹錢 □壹年 同壹圓四拾四錢

御大典記念畫報 婦人畫報  
皇族畫報 少女畫報  
日本幼年

發行所

東京京橋鍛冶橋外  
振替東京四九〇〇

東京社

初めて入園した幼児に平易で適切な一

# 大正六年第一案考

# 花とり競争

定價金二圓五十錢

## 遊方

松竹梅、櫻、菊楓の形を(板にて)八寸の大きに切抜き、特有の色を以て彩色したるものを遊嬉室に配つて置いて一方で先生が大な、獨樂(六角に削つて右の六)を廻し止た時に現れた(櫻が)出れば櫻處へ速かに行た方が一番といふのであります、その間幼児は互に梅とか櫻とか、好むところを唱へつゝ待て居るのであります、

## 教育的價值

沈着と敏捷、獨樂の止る瞬間には最も沈着にして正しく出たものを視分なくてはなりません

視分が付たなれば、最も敏捷に目的の處へ間違ぬ様に行かなくてはなりません

此處で視覺の練習にもなり同時に植物の名稱を覺る事が出来ます

東京九段

電話番町二九〇九  
振替東京一九六四〇

フレーベル館

最も嗜好多き運動器具

明治三十四年一月廿八日第三種郵便物認可(毎月一回一日發行)  
婦人と子ども 第十七卷第三號 大正六年三月一日納本濟  
大正六年三月一日發行

印刷所 凸版印刷株式會社本所分工場